

大阪に住まう・暮らす・楽しむをお手伝い **住まいのガイドブック**

暮らし

《特集》

水辺の暮らし再発見!

大阪くらしの今昔館news
新収蔵品「淀川両岸帖」について

トピックス 水害にあってしまったら…そのあと、すべきことは

大阪市住まいのガイド
借りる・買う・建てる・建て替える
各種住宅施策のご案内

コラム 高井 道弘氏(住吉大社宮司)

volume

83

2020年夏号

〈今月の表紙〉
天保山渡船場(桜島側)

人と住まいを結ぶ情報発信基地
大阪市立 **住まい情報センター**

《 特 集 》

水辺の暮らし 再発見!



大阪といえば、『水の都』。川が多い大阪では、水運が物流を支え、商都大阪の発展を支えてきました。また水運は、大阪の経済だけではなく、大阪人の暮らしにも大きな役割を果たしています。今改めて、水とともに営まれてきた暮らしの魅力を再発見してみませんか。

大阪の地理と都市文化に詳しい、大阪市立大学の
大場茂明教授の研究室よりオンラインシステムを利用して解説していただきました。市内を流れる川を辿り、治水や利水の歴史を紐解きながら、一緒に水辺の町を覗いてみましょう！



大場 茂明氏

大阪市立大学大学院文学研究科教授

旭区側から望む淀川の風景。
堤防沿いから、左手に広がる「城北ワンド」を眺められる。

Spot 1

淀川を巡る歴史と自然

水運の歴史を追体験する、
『毛馬第一閘門と旧毛馬洗堰』

大阪市内を流れる淀川は、江戸時代から塩や酒や木材、全国の特産物などを運ぶ、物資の輸送路として活用されてきた。多い時には1日に約9000人が旅客船で大阪と京都・伏見を行き来したと言わ



れている。

日本初の本格的な治水事業である淀川改良

工事が始まったのは、明治29年(1896年)。大阪市北区の長柄地区に、当時の施設が国の重要文化財(2008年指定)として残されている。「毛馬は、洪水防止のために新たに開削された淀川放水路(新淀川)と大川(旧淀川)の分岐点でした。高低差



赤煉瓦の壁が目印の『毛馬第一閘門』。観音開きの扉は、背の高い船も通れる仕様だ。

のあるこの2つの川を活用するために、分流施設群が建設されました」と大場教授は話す。

船舶航行のために水位の高低差を調整

する『毛馬第一閘門』と、大川に流れ込む水量を調節する『旧毛馬洗堰』の建設により、洪水の対策が整い、旅客や貨物などの舟運が盛んとなったため、沿岸の市街化も進んでいった。「京阪電気鉄道が開通し、鉄道輸送が主流になる昭和37年(1962年)頃までの間、舟運は活躍しました」。現在、施設の周りは公園として整備されている。緑の木々を背景に堂々と存在する『毛馬第一閘門』の佇まいは、その歴史を伝えながら、散歩客の目を楽しませている。

釣りもできる! 都市に現れた自然『城北ワンド』

その毛馬公園から淀川沿いに東側に行くと、淀川河川公園に出る。堤防沿いには、ランニングや犬の散歩、サッカーやフリスビーを楽しむ人々の姿が日常的に見られる。川沿いをさらに東に進むと、水辺の緑が一層深い場所にたどり



毛馬第一閘門の脇に建つ『淀川改修紀功碑』。当時の土木工事の大変さと重要性を物語る。



ヒシ・ウキクサなどの水生植物が生育する『城北ワンド』は、魚の産卵や稚魚には絶好の場所だ。

れたところに土砂がたまり、水際を好む植生が繁茂し、魚や鳥が生息し始めたのです」。都市部に突如現れる貴重な自然。バス釣りの名所でもあるのだそう。開放感のある天然の水辺の広場として、人々の日常や余暇にゆとりと豊かさを与えている。

着く。この『城北ワンド』は、天然記念物のイタセンパラの生息地としても知られている。「曲がった淀川を直線化する治水工事により、船の航行のために水流をコントロールし、一定の水深を保つ装置『水制』が岸側の各所に置かれました。そのおかげで水は川の中央部をまっすぐ流れ、岸側の水流は緩やかに変化すると、次第に、水制に囲ま

安治川から大阪湾を辿る、 日常風景



天保山渡船場(築港側)に向かう渡し船。6時～21時の間、15～30分毎に無料運行している。対岸側へは約1～5分後に到着する。



河村瑞賢の功績で栄えた 貿易港

毛馬閘門で新淀川と分岐した大川(旧淀川)が、さらに安治川と木津川に分かれる。この2つの川に挟まれた土地が、九条エリアだ。江戸時代、町の発展には水運が必要不可欠だったが、一方で、沿岸の水害に悩まされ続けていた。そこで、貞享4年(1687年)、土木事業家の河村瑞賢が、新しい川を掘り淀川の水を大阪湾へまっすぐに流れ込ませる開削工事を行った。こうして、完成したのが安治川だ。「この画期的な人工水路のおかげで、水害が収まっただけではなく、新たな水運航路を得た大坂は、『天下の台所』として飛躍的に発展していったのです」。

町工場として発展した九条の賑わい

こうして九条は、近代大阪の発展の基礎を担うようになった。明治時代には、整備された川口外国人居留地や、府庁・市役所なども立地するようになった。「典型的

な商工住混合地区として発達し、ネジや**びょうろ**、**びん**などの部品を臨海工業地帯に供給していました」。第二次大戦前には、商店や百貨店はもちろん、映画館、寄席などの娯楽場も商店街に軒を連ね、『西の心齋橋』と呼ばれるほど賑わっていた。

今でも町を歩くと、多くの長屋を見つげられる。細い路地の奥には、井戸や地藏祠がひっそりと残っており、当時の生活に思いを馳せることができる。商店街には当時の繁華街の名残はほとんどないが、生活に根ざし、地域住民の暮らしを支え続けている。「オオサカメトロや阪神電車が通り、交通の便も良い。住む町で働く、職住一体の暮らしがまだ残っており、その下町らしさに魅力を感じて住む、若い世帯も増えていますよ」と大場教授。

また、東側を流れる木津川の河川敷にある遊歩道では、約15年前から『アドプト・リバー・千代崎』という活動も起こっている。地元住民や子どもたちがボランティアで、四季折々の花木を花壇に植え育て、自分たちが住む町の水辺の風景を豊かにしている。自主的に参加するメンバーの中には高齢者も多く、コミュニケーションも盛んだ。





井戸や地藏祠が残されている、九条エリアの裏路地。長屋には古くからの住人も多い。



『安治川隧道』は、24時間いつでも通行できる。現在は歩行者・自転車のみ。右側の扉は車両用エレベーター2基。昭和52年(1977年)に通行が中止された。

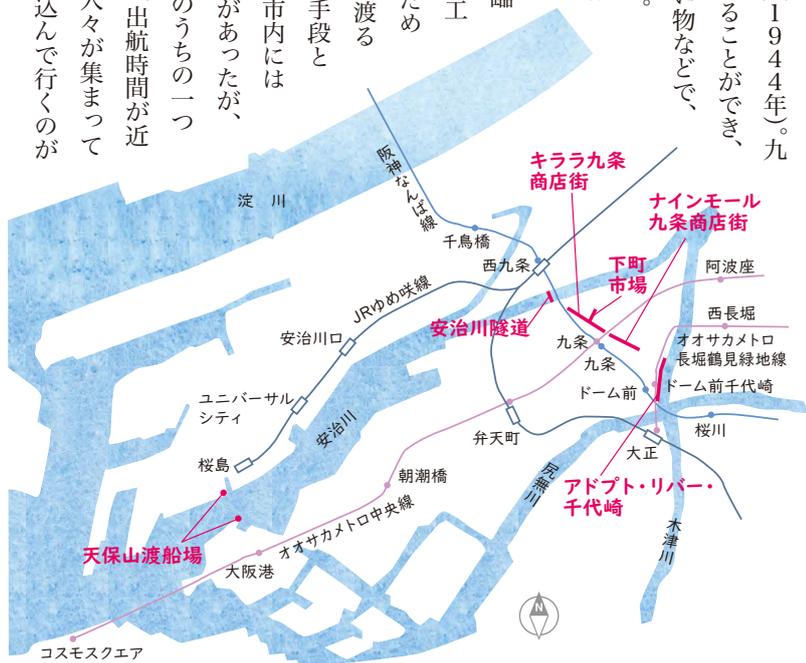


食料品や日用品の店が並ぶ下町市場は、当時の面影を残している。

徒歩で行く『安治川隧道』と 船で渡る『天保山渡船場』

人々の日々の暮らしには、移動が欠かせない。川の対岸への移動手段として使われたのは、橋だけではなかった。九条には、日本で初めて沈埋工法(陸上で製作した沈埋函を川底に掘り込んだ溝に埋めて連結し、埋め戻してトンネルを作る)により建設された全長約80mの川底トンネル『安治川隧道』がある。なんと安治川の底を徒歩や自転車で移動することができるのだ。完成したのは、昭和19年(1944年)。九条から西九条へと移動することができ、現在でも通勤通学や買い物などで、日常的に利用されている。

船で移動できる渡船場が、臨海部にある。「現在USJのある桜島など臨海部には、当時多くの重工業が立地していた。そのため港区築港側から桜島側へ渡る『天保山渡船場』は、通勤手段として使われていました」。市内には最盛期で31か所の渡船場があったが、現在残るのは8か所。そのうちの1つだ。撮影に訪れた当日も、出航時間が近づくと自転車で乗り込んだ人々が集まってきた。慣れた様子で乗り込んで行くのが



見られた。数は減っているものの、渡船は立派な市民の足として活躍している。「水に囲まれて暮らしてきた先人の知恵は、現代にも生きています。それ以上に、水運で発達してきた下町の風情を楽しんだり、水辺の自然環境を余暇の充実として活用することは、水辺暮らしのほかでもない魅力であり、新しい体験です」と大場教授。川や水と寄り添うことは、私たちの生活や暮らしを豊かにする、ひとつの選択肢なのだ。

大阪市立 住まい情報センター

を利用しませんか

相談専用電話 (06) 6242-1177

●住まいに関するご相談をお受けしています **無料**
住まいの一般相談
(随時/窓口相談・電話相談)
 公的賃貸住宅などの住まい探しをはじめ、住まいを購入するときや建てるときの一般的注意点、分譲マンション管理に関する情報や大阪市を中心とした住宅施策などに関するご質問に、窓口または電話で相談員が対応します。まず相談内容をお聴きして、問題点の整理・解決のために必要な知識や情報を提供します。英語、中国語、韓国、朝鮮語にも対応します。(外国語対応は17時まで)



住まいのライブラリー



●住まいの専門家相談 **(予約制/面接相談) 無料**
 お申し込みの際には、相談員が一般相談で内容をうかがってからの予約します。
 ■住まいの法律 ■住まいの資金計画
 ■建築・リフォーム ■分譲マンション(法律)
 ■分譲マンション(管理一般)
 実施日等についてはお問い合わせください。
 ●住まいのライブラリーで図書、雑誌などを利用できます **無料**
 住まいやくらし、大阪に関する図書、建築本や雑誌、機関誌、ミニコミ誌、企業広報誌、絵本などを自由に閲覧していただけます。また、図書の貸し出しも行っています(一部を除く)。
 ●ホール、研修室・ギャラリーをイベントや展示会・サークル活動・会議・研修会の場としてご利用いただけます **有料**

住まい探しや情報収集をサポート



防災情報コーナー



3階 ホール



定員:机利用の場合/150席
 椅子のみの場合/300席
 ※控え室もあります。

5階 研修室



定員:机利用の場合/54席
 椅子のみの場合/70席
 ※研修室は区切って、少人数でもご利用いただけます。

インフォメーション

※大阪府の感染拡大予防のガイドラインに基づき、使用人数を変更しております。詳しくはお問い合わせください。



交通アクセス

- Osaka Metro谷町線・堺筋線、阪急電鉄「天神橋筋六丁目」駅下車3号出口直結
- JR大阪環状線「天満」駅から北へ約650m
- お車でお越しの場合は阪神高速道路「守口線」長柄出口 都島通り経由、約500m

開館時間

- 4階 住情報プラザ(相談・ライブラリー)
 平日・土曜日/9:00~19:00
 日曜日・祝日/10:00~17:00
- 3階 ホール/5階 研修室・会議室
 平日・土曜日/9:00~21:00
 日曜日・祝日/9:30~17:00

休館日

- 火曜日(祝日の場合は翌日)
- 祝日の翌日(日曜日、月曜日の場合を除く)
- 年末年始(12/29~1/3)
- ※上記のほか臨時休館する場合があります。

〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20 TEL.06-6242-1160 FAX.06-6354-8601
 おおさか・あんじゅ・ネット <http://www.osaka-angenet.jp/>



※新型コロナウイルス感染症拡大の防止等、やむを得ない状況により変更になる場合がございます。
 ※ご利用の際には、マスクの着用や、手指消毒、他の方との距離を最低1mに保つなど、対策にご理解、ご協力をお願いいたします。

トピックス

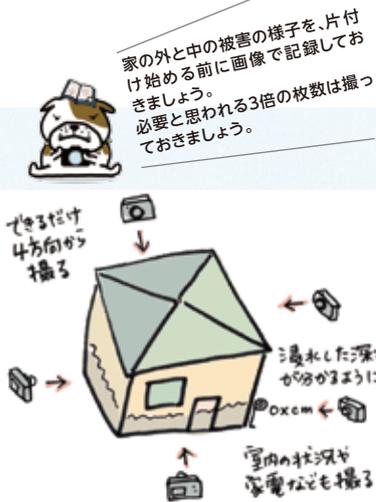
水害にあつて
しまったら…
そのあと、すべき
ことは



すまじよーくん

今や、日本国内どこにいても被災する可能性があるといえます。しかし、一生に一度、あるかないかの被災ですから、なかなか自分事にならないことが課題になっています。災害への対応は、事前の準備に尽きるわけですが、実際に被災した方々が被災後に何をすればいいのかわからない方がほとんどです。被災という望まない現実と直面した時に役立つ情報をまとめてみました。このページだけでは伝えきれない事ばかりですが、詳細はインターネット上でも公開しています。

■着事前に被害状況を記録する



■「り災証明書の申請は忘れずに

家屋(住居)の被害の程度を行政が証明します。この「り災証明書」の判定は、その後の様々な制度を受ける際に必要になってきますので、必ずお住いの市町村の窓口申請するようにならしてください。

■処分するものと残すものを分ける



このほか、家電製品の多くは水没すると使えなくなるものがほとんどです。家電リサイクル対象品の処分方法は、自治体からの情報を確認するようにしましょう



■迷ったら、残しておく

一度に大量の家財を捨てるか残すかの判断をしなくてはならず、数日経つと判断することに疲れ、全て捨ててしまいたくなる方も多くいます。しかし、後で落ち着いてから「捨てなければよかった」という後悔の声もよく聞きます。迷ったら、すぐに捨てずに、後日落ち着いてから判断しましょう。

■廃棄は分別して回収効率UP

水害後は短期間に大量の廃棄物が発生します。木・鉄・プラスチック・家

電製品などが混在させてしまうと回収にとても時間がかかります。自治体指定の廃棄場所に分別して出すことで、回収や処分の効率が向上します。

■床下の放置にご用心

見える部分が片付くころには、すでに体力を使い果たしてしまっていることが多く、床下や壁の内側など見えない部分まで対応する気にならないことも多くありますが、放置すると水や泥が残ったままになってしまふことがあります。必ず床下や壁の内側を確認するようにしましょう。

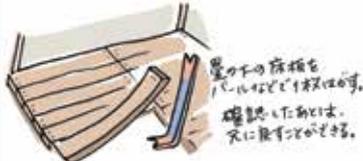
洋室・フローリングの部屋は床下収納や点検口から確認できます。どちらもなければ点検口の増設を工務店等に依頼します。(イラスト上)

和室(畳敷)の場合、和室は畳を外すと床板が見えるので、それをバール等で外して床下を確認します。(イラスト下)

洋室・フローリングの場合



和室(畳敷)の場合



■大切なのは「乾燥」焦らずに

家屋の一番の敵は湿気です。一度浸水するとなかなか乾きませんが、慌てず時間をかけて(1ヵ月以上は覚悟する)浸水箇所を乾燥させます。その後、逆性石けんなどで消毒し、さらに乾燥させます。ここで大切なのは焦らないこと。乾燥が不十分なまま床を戻したのちに、カビが発生してしまつたケースもあります。

■片付けの手伝いを依頼する

水害後の片付け等は時間も体力も必要になります。自分たちだけでは到底片付けられない場合もあります。地域の社会福祉協議会に相談してみてください。ボランティアの方々を手伝ってくれる場合もあります。

■無料相談なども活用しよう

災害後には役所などで弁護士や行政書士などによる無料相談が行われることが多くあります。法律的なことだけでなく、制度の活用や生活再建のアドバイスなど、幅広く対応してくれます。一人で悩まないで、無料相談に気軽に相談してみましょう。何に困っているのかを話すだけでも構いません。話をするうちに思わぬ解決策が見つかることもよくあります。

震災がつなぐ全国ネットワーク事業担当責任者
松山文紀

※大阪市の市外局番は「06」です。※各事業の詳細は、おおさか・あんじゅ・ネット (<http://www.osaka-angenet.jp/>) および大阪市ホームページでご確認ください。

※補助、助成事業の利用には条件があり、事前協議が必要ですのでお早めにご相談ください。なお、予算額に達し次第受付を終了しますのでご注意ください。

住まいを買う・建てる・建て替える・解体する

制度名称	制度概要	お問い合わせ
大阪市新婚・子育て世帯向け分譲住宅購入融資利子補給制度	初めて住宅を取得する、新婚世帯・子育て世帯を対象に住宅ローンの利子の一部を補助します。なお、予算の範囲内で先着順に受付します。申し込みにかかる資格要件につきましては窓口までお問い合わせください。	大阪市都市整備局 住宅支援受付窓口 (住まい情報センター4階) ●TEL:6356-0805●FAX:6356-0807
大阪市子育て安心マンション認定制度	‘子育てに配慮した仕様’と‘子育てを支援する環境’を備えた良質な民間の新築マンションを認定し、その情報を大阪市ホームページ等で広く情報発信していきます。	大阪市都市整備局 安心居住課 ●TEL:6208-9648●FAX:6202-7064
大阪市防災力強化マンション認定制度	耐震性や耐火性等建物の安全性に関する基準に適合することに加え、被災時の生活維持に求められる設備・施設等の整備、住民による日常的な防災活動等により防災力が強化されたマンションを認定し、広く情報発信していきます。	大阪市都市整備局 まちなみ環境グループ ●TEL:6208-9631●FAX:6202-7064
大阪市エコ住宅普及促進事業	断熱性能が高く、太陽光発電や省エネ性能に優れた設備などを備えたマンション等を「大阪市エコ住宅」として認定し、広く情報発信していきます。	大阪市都市整備局 まちなみ環境グループ ●TEL:6208-9631●FAX:6202-7064
民間老朽住宅建替支援事業 (タテカエ・サポーティング21)	集合住宅への建替建設費補助	昭和56年5月31日以前建築のアパートや長屋等を集合住宅(マンション・アパートなど)に建替える場合、建替え費用の一部を補助します。
	隣地を取得した戸建住宅への建替建設費補助	優先地区において、未接道敷地や狭小敷地を解消するために隣地を売買で取得した敷地において、昭和56年5月31日以前建築の建物を戸建住宅に建替える場合、設計・解体費用等の一部を補助します。
	狭い道路に面した古い木造住宅の解体費補助	優先地区において、幅員4m未満の道路に面する昭和25年以前建築(重点整備エリアにおいては、幅員6m未満の道路に面する昭和56年5月31日以前建築)の木造住宅を解体する場合、解体費用の一部を補助します。
防災空地活用型除却費補助制度	優先地区内の一部エリア等において、幅員6m未満の道路に面する昭和56年5月31日以前建築の木造住宅を解体し、跡地を災害時の避難等に役立つ防災空地として活用する場合、解体費用及び空地整備費用の一部を補助します。 ※本制度を活用して防災空地を整備した場合、土地の固定資産税・都市計画税が非課税になります(整備の翌年以降)。	大阪市都市整備局 密集市街地整備グループ ●TEL:6208-9234●FAX:6202-7025

住まいを改修する

制度名称	制度概要	お問い合わせ
大阪市耐震診断・改修補助事業	一定の要件を満たす戸建住宅等の所有者に対して、耐震診断・耐震改修設計・耐震改修工事に要する費用の一部を補助します。また、耐震事業者の紹介を行います。	大阪市都市整備局 耐震・密集市街地整備受付窓口 (住まい情報センター4階) ●TEL:6882-7053●FAX:6882-0877
マンション耐震化緊急支援事業	一定の要件を満たすマンションの所有者に対して、耐震診断・耐震改修設計・耐震改修工事に要する費用の一部を補助します。	●TEL:6882-7053●FAX:6882-0877
ブロック塀等撤去促進事業	道路等に面した一定の高さ以上のブロック塀等の撤去および軽量フェンス等の新設工事に要する費用の一部を補助します。	●TEL:6882-7053●FAX:6882-0877
大阪市子育て世帯等向け民間賃貸住宅改修促進事業	LDK化や断熱改修、ユニットバスの新設・改良工事等、子育て世帯等の入居に資する改修工事を行う民間賃貸住宅等のオーナーに対して、改修工事費の一部を補助します。	大阪市都市整備局 民間住宅助成グループ ●TEL:6208-9228●FAX:6202-7064
大阪市地域魅力創出建築物修景事業(修景に関する無料相談など)	建物の修景の促進により地域魅力の創出を図るため、「修景相談」と「修景補助」を実施するとともに、修景された建物等を活かした「魅力発信等」に取り組んでいます。まずはお気軽に建物の修景についてご相談(無料)ください。	大阪市都市整備局 まちなみ環境グループ ●TEL:6208-9631●FAX:6202-7064
大阪市空家利活用改修補助事業	空家の利活用にに向けた良質なストックへの改修を促進するため、住宅の性能向上に資する改修や地域まちづくりに資する用途への改修に要する費用等の一部を補助します。	大阪市都市整備局 防災・耐震化計画グループ ●TEL:6208-9622●FAX:6202-7025
高齢者住宅改修費給付事業	介護保険制度の居宅介護(介護予防)住宅改修費の支給を受ける方が属する世帯等で、生活支援・介護予防の観点から真に住宅改修が必要と認められる世帯の住宅改修費用の一部を給付します。	各区保健福祉センター 保健福祉課
重度心身障がい者(児)住宅改修費給付事業	在宅の重度の身体・知的障がい者、難病患者等の方が、日常生活上の障がいの除去または軽減に直接効果のある改修工事を行うとき、工事費用の一部を給付します。所得制限があります(ただし、介護保険制度が適用される方は本制度の対象となりません)。なお、必ず事前に申請が必要です。	各区保健福祉センター 保健福祉課

分譲マンション管理組合の方へ

制度名称	制度概要	お問い合わせ
分譲マンションアドバイザー派遣制度	分譲マンションの適正な管理等を支援するため、管理組合等の勉強会の講師として、一級建築士や弁護士などの専門家を無料で派遣し、建物の技術的な内容や法的な問題等に関して、一般的なアドバイスをを行います。	予約申込 住まい情報センター ●TEL:6242-1177(相談専用)
分譲マンション長期修繕計画作成費助成制度	長期修繕計画の作成又は見直しを行う管理組合に対して、作成費用の一部を補助します。補助率:補助対象となる経費の1/3 補助限度額:1件当たり30万円	大阪市都市整備局 住宅政策グループ ●TEL:6208-9224●FAX:6202-7064
分譲マンション再生検討費助成制度	再生(改修、建替え等)に向けた検討を行う管理組合に対して、検討費用の一部を補助します。補助率:補助対象となる経費の1/3 補助限度額:1回当たり60万円	●TEL:6208-9224●FAX:6202-7064
大阪市マンション管理支援機構	公共団体や、建築、法律等の専門家団体等が連携して、分譲マンションの管理組合を支援します。登録組合には、セミナーの開催案内や情報誌等を無料で送付します。	大阪市マンション管理支援機構事務局 (住まい情報センター4階) ●TEL:4801-8232●FAX:6354-8601

借りる・買う・建てる・建て替える

大阪市住まいのガイド

紹介している大阪市の公的賃貸住宅や各種制度について、より詳しくお聞きになりたい方はお気軽にお問合せください。

住まい情報センター
相談専用電話
TEL:6242-1177

民間賃貸住宅等の オーナーのみなさまへ 子育てに配慮した改修に対するリフォーム費用を補助します！ 「子育て世帯等向け民間賃貸住宅改修促進事業」実施中！！

子育て世帯等の市内居住の促進と民間賃貸住宅ストックの有効活用を図るため、子育て世帯等の入居促進を目的とした改修等にかかる費用の一部を補助します。

補助要件

- 昭和56年6月1日以降に着工した建築物であること
- 住戸の床面積が40平方メートル以上であること
- LDK化や断熱改修、ユニットバスの新設・改良工事のいずれかを含む工事
- 子どもの安全対策措置を実施すること など

補助対象工事

① バリアフリー改修工事	⑤ 子どもの安全対策措置
② 省エネルギー改修工事	⑥ 防音性の向上等に係る工事
③ 間取りの変更に係る工事	⑦ 防犯性の向上に係る工事
④ 設備の新設・改良工事	

<補助金額>補助対象工事費の1/3(1戸当たり最大75万円)



LDK改修前



LDK改修後

改修工事の条件など制度の詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

大阪市 子育てリフォーム補助

検索



問合せ:都市整備局企画部住宅政策課民間住宅助成グループ【電話】6208-9228【FAX】6202-7064

住まいを借りる(公的賃貸住宅等)

- **市営住宅** ・住宅に困っておられる所得の低い方々向けの賃貸住宅です。原則として大阪市内にお住まいの方が対象です。
・収入基準は、一般世帯で158,000円以下、高齢者・障がい者世帯等で259,000円以下(月額所得額)となります。

※令和2年4月～6月に実施予定としていた入居者募集については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響から住宅設備系補修資材の不足に伴い、募集住戸の補修実施の目処が立たない状況であるため中止しましたが、その状況が改善し、募集住戸の補修を実施できる目処が立ったため、募集日程を再調整のうえ、入居者募集を再開いたします。

募集種別	概要	お問い合わせ
定期募集等【抽選】	令和2年度は9月上旬および2月上旬に募集を行います。収入・同居親族等の条件があるほか、一般世帯・新婚・子育て・単身者向け等、各申込区分により申込資格を設定しています。一部の申込区分では、府内居住、市内在勤の方も申込みができます。	大阪市住まい公社募集担当 ●TEL:6882-7024 ●FAX:6882-7021
福祉目的募集【抽選】	令和2年度は11月中旬に募集を行います。 ひとり親(配偶者のない方とその子ども(20歳未満)のみで構成する世帯)、高齢者(60歳以上)および障がい者(障がい者手帳(身体・精神・療育)等を所持していること)の方々が対象であり、各申込区分により申込資格を設定しています。申込書類は各区保健福祉センターで配布します。	ひとり親住宅/大阪市子ども青少年局 子ども家庭課 ●TEL:6208-8035 ●FAX:6202-6963 高齢者向け住宅/大阪市福祉局 高齢福祉課 ●TEL:6208-8060 ●FAX:6202-6964 障がい者向け住宅/大阪市福祉局 障がい福祉課 ●TEL:6208-8081 ●FAX:6202-6962
随時募集【先着順、一部抽選】	定期募集等において、応募者が募集戸数に満たなかった住戸について、先着順で随時募集を行っています。令和2年度は2回、募集住戸の追加があり、追加住戸については、抽選で入居者を決定します。	大阪市住まい公社募集担当 ●TEL:6882-7024 ●FAX:6882-7021

- **中堅層向け住宅** 公営住宅の収入基準を超えている方等、中堅所得者向け賃貸住宅(先着順)です。大阪市内にお住まいの方も申し込みができます。
- **その他の公的賃貸住宅**

住宅種別	お問い合わせ	管理者	お問い合わせ
大阪市管理 市営すまいりんぐ(子育て応援型)・市営すまいりんぐ・市営特定賃貸住宅・市営再開発住宅	大阪市住まい公社募集担当 ●TEL:6882-7012 ●FAX:6882-7021	大阪府	大阪府営住宅藤井寺管理センター ●TEL:072-930-1093
大阪市住まい公社管理 公社一般賃貸住宅・公社すまいりんぐ・民間すまいりんぐ(公社管理)	大阪市住まい公社募集担当 ●TEL:6882-9000 ●FAX:6882-7021	大阪府 住宅供給公社	大阪府住宅供給公社募集グループ ●TEL:6203-5454
民間指定法人管理 民間すまいりんぐ(指定法人管理)	大阪市都市整備局 特優賃受付窓口 ●TEL:6882-7055 ●FAX:6882-7031 ※入居申込は各法人を案内させていただきます。	都市再生機構 (UR都市機構)	UR梅田営業センター●TEL:6346-3456 空室情報フリーダイヤル:0120-23-3456

民間賃貸住宅

制度名称	制度概要	お問い合わせ
セーフティネット住宅登録制度	低額所得者や高齢者、障がい者、子育て世帯等の住宅の確保に特に配慮を要する方の入居を拒まない住宅として、大阪市内に登録された民間賃貸住宅を、以下のサイトで検索できます。 (セーフティネット住宅情報提供システム)https://www.safetynet-jutaku.jp/guest/index.php	大阪市都市整備局 安心居住課 ●TEL:6208-9222 ●FAX:6202-7064
サービス付き高齢者向け住宅登録制度	高齢者が安心して暮らすことができる住宅として、大阪市内に登録された住宅を、以下のサイトで検索できます。 (サービス付き高齢者向け住宅情報提供システム)https://www.satsuki-jutaku.jp/search/index.php	大阪市都市整備局 安心居住課 ●TEL:6208-9648 ●FAX:6202-7064
大阪あんぜん・あんしん賃貸住宅登録制度	高齢者、低額所得者、障がい者、外国人、子育て世帯等の入居を拒まない賃貸住宅と、その仲介を行う協力店、入居の支援を行う団体や相談の窓口等を、以下のサイトで検索できます。 (あんぜん・あんしん賃貸検索システム)http://sumai.osaka-anshin.com/	大阪府住宅まちづくり部 都市居住課 ●TEL:6210-9707 ●FAX:6210-9712

MESSAGE BOARD

令和2年度チャレンジタイアップ事業 の実施団体が決定しました！

ユニークなテーマや仕掛けのあるイベントを実施いただける団体を募集し、右記の団体が採択されました。

※新型コロナウイルス感染症拡大の防止等やむを得ない状況により、実施時期や事業内容に変更が生じる可能性及び中止する場合がございます。その場合は「住まい・まちづくり・ネット」等でお知らせします。

応募団体名	事業タイトル名
大阪24区 街の記憶プロジェクト	スマホアプリでできる 大阪24区面白さ再発見の街歩き
公益社団法人全日本不動産協会 大阪府本部	夏休み親と子どもの DIY体験

※タイアップ事業は、住まい情報センターと住まい・まちづくりに取り組むNPOや専門家団体等が連携・協働して実施するセミナー・イベントを通して、市民の皆様への住環境の質や大阪の居住地魅力の向上のために実施する事業です。

建物の修景のご相談を お受けしています

無料

外観の特徴を活かした改修や、まちなみに配慮した整備等、市内の建物の「修景」に関することならどんなことでも。まずはお気軽にお電話で問合せください。

■ 修景相談の例

- ・まずは大阪市内の修景事例をできるだけたくさん知りたい。
- ・室外機や看板を整理して、すっきりしたファサード(建物の正面の外観)にしたい。
- ・建物の外観の特徴が引き立つようにライトアップで演出したい。
- ・建物全部を修景するのは大変そう。ちょっと直すだけでもいいのかな？

【お問い合わせ】
大阪市都市整備局まちなみ環境グループ
TEL:06-6208-9631



■ 修景の事例



室外機等の撤去



After

外壁の高圧
洗浄・水洗



Before

After

窓枠・扉の塗替え



Before

Before



After

中央窓の意匠に合わせて
窓格子を再現、既存塗料
を落として白漆喰塗



Before

トタン板を
焼杉板に
張り替え



Before

室外機・
シャッター
の塗装



Before

今回誌面に紹介しきれなかった「特集」の写真をfacebookに掲載します。ぜひご覧ください。



大阪市立住まい情報センター

検索



あんじゅ読者
アンケートに
ご協力ください

住まい情報センター制作スタッフ

舞い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症による影響を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

末筆ながら、このたびの新型コロナウイルス感染症による影響を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

83号企画当初は大場先生のご案内で、スタッフ皆でまち歩きをする予定でしたが、冒頭の通り、大場先生には研究室から解説いただき、スタッフはそれぞれ三密を避け、取材しました。一昨年の台風により、災害は身近な存在であると再認識していましたが、今回のコロナウイルスにより疫病も災害の一つとして備えが必要なのだと気づきました。

あんじゅ
編集通信

大阪市立 住まい情報センター セミナー・イベントガイド 2020年

※新型コロナウイルス感染症拡大の防止等やむを得ない状況により、セミナーを中止する場合がございます。その場合は「住まい・まちづくり・ネット」等でお知らせします。

1 住まい情報センター 主催イベント

住まい情報センターが主催するセミナー・イベントです

■住まいの基礎知識

住まいを購入する(全8回)

第3回 中古戸建住宅編 「中古住宅を購入してリノベーション」

- 日時:7月4日(土)13:30~16:00
- 場所:3階ホール
- 講師:第1部 西本淳一((一社)大阪府宅地建物取引業協会研修インストラクター)
第2部 嶽下康弘((公社)大阪府建築士会住宅を設計する仲間達所属建築士)
- 定員:50名(申込先着順)

第4回 分譲マンション編 「新築・中古マンションを購入するときの注意点」

- 日時:9月5日(土)13:30~15:30
- 場所:3階ホール
- 講師:(一社)大阪府宅地建物取引業協会研修インストラクター
- 定員:50名(申込先着順)

第2回 自然災害と損害保険 「住まいに関する保険」

- 日時:9月19日(土)13:30~15:30
- 場所:3階ホール
- 講師:村井康人((一社)日本損害保険協会近畿支部)
- 定員:50名(申込先着順)

■住まいのワークショップ

親子の都市と建築教室2020 「オンラインのまちをつくらう!」 ~バーチャルでまちつくろ~

小学生
対象

- 日時:8月1日(土)13:00~16:00もしくは
8月2日(日)13:00~16:00
- 定員:各回20名(申込多数の場合抽選・オンラインでの実施となります。)
※ご都合のよい日程をお選びください。
- 参加に必要なもの:通信可能なパソコン等
(スマホ、タブレットも可)
- 申込締切:7月18日(土)
※本ワークショップはオンラインでのみ
申込受付ます
- 共催団体:(一社)日本建築学会近畿支部・
(公社)大阪府建築士会



2 その他 住まい関連イベント

■大阪市マンション管理支援機構

マンション管理基礎セミナー

分譲マンションの管理組合運営に関する「基礎知識」を学んでいただくための「連続」講座です

- 日時:①7月5日(日)
②7月12日(日)
③7月19日(日)
①、②13:30~16:30、③のみ13:30~14:50
- 場所:3階ホール
- 定員:各日45名(申込先着順)
(連続受講が基本ですが、1日だけ1講座だけの受講も可能です)

マンション管理組合交流サロン (まなかんサロン)

マンション管理組合様同士の情報交換の場です

- 日時:7月19日(日)15:00~16:30
- 場所:3階ホール
- 定員:20名
(分譲マンションにお住まいの方のみご参加いただけます)
(申込多数の場合は、新しく管理組合役員になられた方、登録管理組合を優先して抽選します。)
- 申込締切:7月9日(木)
- お問い合わせ:大阪市マンション管理支援機構事務局(06-4801-8232)

参加申し込み方法

- ホームページからの申し込み
申し込みは開催日の約2カ月前からになります。

住まい・まちづくり・ネット
▶<https://www.sumai-machi-net.com/>



- はがきまたはFAXで申し込み
記入事項を明記し、下記の住所、FAX番号へお申し込みください。
〒530-8582(住所不要)大阪市立住まい情報センター4F FAX:06-6354-8601
- 記入事項:イベント名、住所、名前(フリガナ)、年齢、参加希望日、電話番号、手話通訳希望の有無、個別相談希望の有無など

- 特記以外参加費は無料、要事前申し込み。申込先着順の場合は、定員になり次第締切。抽選の場合は、締切後も定員に満たない場合は引き続き募集します。
- 申し込みの際の個人情報は、主催者で適切に管理し、イベントに関する連絡、統計データおよびイベント保険(必要な場合)への加入にのみ利用します。

- 手話通訳をご希望の方は開催2週間前までにお問い合わせください。

【注意】一部のイベントを除き、参加証の発送はありません。
「申込先着順」のイベントにお申し込みいただいた場合は、イベント開催当日、直接会場にお越しください。「抽選」の場合に限り、ハガキかEメールで当落をお知らせします。

以下、広告です。広告に関する一切の責任は広告主に帰属します。「広告掲載」のお問い合わせは、大阪市立住まい情報センター TEL: 06-6242-1160

大阪市住まい公社の賃貸住宅

やちん、らくちん。入居者募集中

キャンペーン 開催中!

新婚家賃補助制度対象物件

ホームセキュリティで24時間安心・安全な暮らし

礼金・礼金
持分手数料

補助金額

補助期間

0円 月額最大 2万円 最長 4年

特典1 家賃キャッシュバック

特典2 子育てキャッシュバック

特典3 敷金不要! → 0円
家賃の3か月分

特典4 駐車場割引
コーシャハイツ限定 → 0円
敷金・使用料3か月分

★ キャンペーン及び新婚家賃補助制度を受けるには
公社指定の保証会社のご利用が必要となります。
~大阪市住まい公社は大阪市住宅供給公社の愛称です~

家賃補助付賃貸マンション
お気軽にお問い合わせください。

大阪市住まい公社
募集担当 06-6882-9000

広告有効期限2020年9月25日



column

コラム

水の神様



住吉大社宮司
高井 道弘

私が奉仕する神社は、大阪上町台地の南端にある。社伝によれば一八〇〇年もの昔に鎮座というほどに古い。住吉の神様は、古事記、日本書紀といった古典にも登場する厳然とした海の守り神だ。

我が国は島国で、海洋国家である。古代、当地は住吉津(朝廷の船着場)と称した、外国との交易の玄関口であり、歴史上有名な遣唐使は、海の神(住吉の神)に航海の安全を祈り、難波の海から出航していった。

そもそも地球は三分の二が水で覆われている。しかも、地球上の最初の生物は海の中で生まれ進化して今日に至ったとのこと。神話でも原初の海から始まっており、いずれにせよ生命の根源は海(水)である事は疑いないだろう。ところが、今日は世界で「水の危機」を声高に叫ぶ時代だ。それでも幸いなことに、我が国は水に恵まれている。先人たちは、その水の尊さを知り、永い年月をかけて豊かな稲作文化を育んできた。

大阪湾に流れ込む川々の水源、京都には貴船神社、奈良には丹生川上神社

があり、いずれも水の神である。海水が蒸発し、雲となり雨となって降りそそぐ。その雨の一滴一滴は、木や森や豊かな山々に保水され、また、流域の養分を集めて川となり、下流の町々を潤しつつ大阪湾に注ぎ、さらに豊かな海を育てるのであった。

天皇陛下には、水問題をライフワークとしてご研究遊ばされ、その中で「水は全ての地域や国々において人々の生活の安定と社会の発展のためにかせないものです」「また水はあらゆる生命の根源であり多くの恵みを与えてくれる」「一方、時に大きな災害をもたらし生命にとつて脅威となります」とご発言になった(御著「水運史から世界の水へ」NHK出版)。

かつて、作家イザヤ・ベンダサンは著書『日本人とユダヤ人』のなかで、日本人は「水と安全」はタダだと思っていると記した。さらに記憶を遡ると、映画「ブッシュマン」(改題コイサンマン)「主人公カイを演じたニカウが日本に招待されたことがあったが、帰国に際して土産に「水道の蛇口」を希望したことがあった。世界では水を汲む

のが一日の仕事である所が数多くあり、水に恵まれた環境に生活している私たちには、あまりに印象的な場面であったのだ。

私達は水があるのが当たり前で、空気の様にあると思っている。それは日本の恵まれた環境、自然の恩恵に感謝するばかりだ。時には、その自然が甚大な災害をもたらすこともあり、人間の力ではどうにもならないこともある。だからこそ、人智を超えた偉大なもの(サムシング・グレート)を神様として、畏れ敬い尊びるのであろう。その恵みに只々感謝しながら今を生きてゆく。それが日本人の自然観と思うのである。

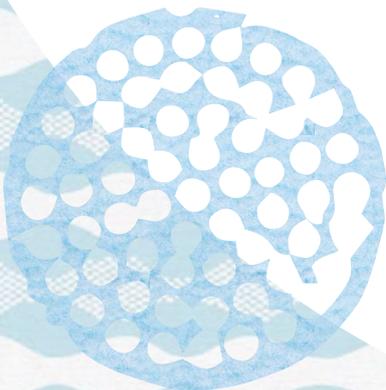




図4 八幡山崎

大阪くらしの今昔館 
news

新収蔵品

「淀川両岸帖」に

ついて

岩間 香

(摂南大学名誉教授・日本美術史)

大阪くらしの今昔館が新たに収蔵した「淀川両岸帖」は、江戸時代の絵師・円山応挙(一七三三〜九五)が描いた「淀川両岸図巻」(重要文化財)の中から選択した六場面を、昭和十五年(一九四〇)に大阪画壇の重鎮である庭山耕園(一八六九〜一九四二)の一門が忠実に模写し、画帖に仕立てたものである。

原本である応挙の「淀川両岸図巻」は、宝暦十三年(一七六三)に下絵が、明和二年(一七六五)に本画が完成した。それは、京都の伏見から大坂の八軒家にいたる淀川両岸の風景を、船上から見たかのよう描いたことで広く知られている。この時期の応挙は、眼鏡絵の制作を通じて西洋画の遠近法や陰影法を修得し、自身の作風を確立しつつあった。山ひだや波の写実的な表現はその成果といえる。現在、「淀川両岸図巻」は公益財団法人アルカンシエール美術財団が所蔵し、ハラミュージアムアーク(群馬県渋川市)に収蔵されている。

今昔館所蔵の「淀川両岸帖」には、制作の経緯を書いた別紙が存在する。

於大阪城紀州御殿

寫先師圓山應舉先生淀川両岸絵巻

枚方萬里莊田中太介雅君請囑

昭和庚辰五月七十二叟後学耕園題簽

伏見乗船場 門人香桂(印)

淀城 門人章園(印)

八幡山崎 門人耕風(印)

枚方 門人耕秋(印)

守口 門人耕喬(印)

浪華天満橋 耕園(印)

これは昭和十五年五月に庭山耕園が記したもので、大阪城の紀州御殿(天臨閣)において円山応挙の「淀川両岸絵巻」を模写したこと、依頼主は枚方萬里莊の田中太介という人物であること、模写の分担は「伏見乗船場」を山田香桂、「淀城」を春元章園、「八幡山崎」を熊田耕風、「枚方」を乙馬耕秋、「守口」を耕喬、そして最後の「浪華天満橋」を耕園自身が担当したことが分かる。

庭山耕園は姫路の生まれで、父が姫路藩大坂蔵屋敷につとめていたことから、廃藩置県後は大阪北船場に居住した。大阪

の日本画家・上田耕沖(一八一九〜一九一一)に師事し、四条派の瀟洒で淡麗な花鳥画を好んで描いた。また、大阪画学校の開設に参加し、大阪絵画協会委員、大阪美術会顧問をつとめるなど大阪画壇で重きをなし、さらに円山応挙の絵の鑑定を行っていた。別添の写真(図1)によると、紀州御殿の板敷の廊下とおぼしきところに、莫塵を敷き、絵巻物をすべ

て広げて、一斉に模写にとりかかったことが分かる。

ここで模写された六景を紹介したい。最初は「伏見乗船場」の場面(図2)。右端には参勤交代で使う六艘の御座船が停泊しており、藩の旗印を掲げている。そして大坂への船が出帆する南浜周辺の町並みが描かれている。

次は「淀城」の場面(図3)。画面の下半



図1 模写風景(大阪城紀州御殿内)



図6 守口



図2 伏見乗船場

分に描かれた淀城は、京都の南を警護する譜代大名の城で、左端に名物の大きな水車が描かれている。

「八幡山崎」(図4)は、画面の上に天王山が、下には男山が上下反対に描かれ、ちょうど船上から見渡したような臨場感にあふれている。この地は古来、京に入る要衝で、天王山は明智光秀と羽柴秀吉の両軍が戦った山崎の古戦場、男山には石清水八幡宮が鎮座し、都の裏鬼門を守護していた。伏見に停泊していた御座船が、ここでは帆いっぱい風を受けて大坂に向かっていく。

「枚方」(図5)は、画面の下に枚方宿が描かれている。宿の中心部の建物は瓦

葺きであるが、周辺部が草葺きに描かれており、当時の民家の屋根材料の普及状況がよく分かる。

「守口」(図6)は、大坂から二里という京街道最後の宿場で、本陣は一カ所、旅籠は二七軒あった。守口周辺の淀川は、流域ではもつとも難所で、波立つ急流が見事に表現されている。

そして最後が「浪華天満橋」である(図7)。薄暮の迫る八軒家の港に御座船が停泊している。旗印や提灯に杏葉紋と見える家紋があるので、佐賀鍋島藩の御座船ではないかと思われる。大坂の町並みは、残念ながら数件の町家の屋根しか描かれていない。本図で模写された六景は、淀川の名所として様々な絵画の題材に取り上げられた場所であった。

ところで、模写の依頼主であった田中太介(一八七六〜一九六三)は、大正九年(一九二〇)に尼崎で鉄道車両を製造する田中車輛工場を創業し、当時は関西財界の有力者であった(昭和十五年当時は田中車輛株式会社。近畿車輛株式会社の前身)。京阪枚方公園駅の東の高台にあった彼の私邸は、「三万坪を擁して大丘陵に陣取り、淀の眺望を真下に見る絶景で、洋館あり茶屋あり、それぞれ輪奐の美を誇り」と記されている(『新東亜建設を誘導する人々』四五九頁、日本教育資料刊行会、昭和十四年)。昭和六年(一九三一)には秩父宮がここに滞在し、眼

下の雄大な淀川を見て「萬里荘」の名を付けた。萬里荘の別棟の茶室は広島県呉市に移築され、「松籟亭」と名付けられて現存している(国登録文化財。昭和九年、平田雅哉の作品)。田中は自らの半生を描いた画帖を制作し、松下幸之助に茶道の師を紹介し、美術品を収集するなど文化にも造詣が深い人物であった。そして、東京の実業家である原家が所有していた「淀川両岸図巻」の原本を借用し、大阪画壇の重鎮であった日本画家の庭山耕園に模写の制作を依頼したのである。

こうして完成した「淀川両岸帖」は、丁寧で精緻な模写によって原本の芸術性を余すところなく伝えている。庭山耕園が四条派の源流である応挙を尊崇し、真摯に制作に打ち込んだことが伺えよう。耕園一門は帝展などの全国画壇に出品しなかったが、伝統的な高い技術を擁していたことは、この作品から明らかになる。また模写の制作は、大阪の発展に寄与し大阪経済界を代表する一人である田中太介が企画したものであった。

本図は近代大阪の歴史と美術史の重要な資料である。加えて、大阪の文化・歴史を語る上で淀川の存在は計り知れないものがある。今昔館がすでに所蔵している「よと川の図」(一八世紀末)と合わせて考察することで、往時の淀川の景観や生業、交通など、さまざまな情報発信が期待できる作品である。



図7 浪華天満橋



図5 枚方



図3 淀城

大阪くらしの今昔館



※新型コロナウイルス感染症拡大の防止等で、会期が変更になる場合があります。「大阪くらしの今昔館」ウェブサイト等でご確認ください。
 ※82号でご案内しました「景観園×今昔館」は中止になりました。

企画展

企画展示室

■和紙の建築模型 建築起こし絵図—茶室と社寺と即位図と くみどころ

- 和紙の建築模型は起こし絵図ともいいます。7年をかけて修復した重要文化財「大工頭中井家関係資料」の中から、茶室や社寺、そして御所の即位図を精選し、建築空間の魅力を楽しんでいただけます。併せて茶室「養庵」(大徳寺玉林院・重要文化財)の原寸模型を展示し、実物大の建築空間も体験していただけます。
- ◆会 期:6月3日(水)~7月12日(日)
- ◆入 館 料:企画展のみ300円



吉田神社大元宮起こし絵図(垂文)



茶室「養庵」原寸模型

■歳時記と祝い事 大阪くらしの今昔館所蔵品展 くみどころ

- 本展では大阪の年中行事と通過儀礼に関連する絵画や工芸品を展示します。節句の行事や人の一生の中で節目にあたる儀礼など、大阪の人々が大切に守ってきた生活文化に触れていただけます。
- ◆会 期:7月23日(木・祝)~9月6日(日)
- ◆入 館 料:企画展のみ300円



花嫁衣装「扇面四季花鳥模様振袖」



二代長谷川貞信「浪花行事十二月」
6月雷節月夏まつり



菅橋彦「春風小午野崎参り」



まなびプログラムを
配信中

大阪市立住まいのミュージアム

大阪くらしの今昔館



造り物 嫁入道具一式の獅子

【9階なにわ町家の歳時記】
江戸時代の大阪の町並みを
実物大で再現。夏祭りを
迎えた大通りには高張提
灯が並び、町家には幔幕が
掛けられ、店先には造り物
や家宝の屏風が飾られて
います。



【8階モダン大阪パノラマ遊覧】
近代大阪の代表的な住まいと暮らしを
ジオラマや資料で再現。

〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20(住まい情報センター8階)
TEL:06-6242-1170 FAX:06-6354-8601 URL:http://konjyakukan.com/

開館時間

10:00~17:00 (入館は16:30まで)

休館日

火曜日 年末年始 その他臨時閉館・臨時休館あり
7月~9月の休館日 7/7、14、21、28 8/4、11、18、25
9/1、7、8、9、10、11、15、29

入館料

一 般 600円/団体500円(20人以上)
高・大生 300円/団体200円(20人以上)
※中学生以下、障がい者手帳等持参者(介護者1名含む)、
市内居住の65才以上無料(要証明書原本提示)
※企画展示の観覧料は別途必要です。

交通機関

- Osaka Metro谷町線・堺筋線、阪急電鉄『天神橋筋六丁目』駅下車
3号出口より住まい情報センター建物の地階へ連絡、エレベーターで8階へ
- JR大阪環状線『天満』駅から北へ約650m

※新型コロナウイルス感染症拡大の防止対策のため、ご利用の際には、マスクの着用や、手指消毒、他の方との距離を最低1mに保つなど、対策にご理解、ご協力をお願いいたします。



大阪くらしの今昔館の近代展示室「天神祭1921—水都の祝祭」御迎人形船(鎮西八郎・手前)と獅子舞講(天神講・奥)

大阪くらしの今昔館 news

volume.76

行って、見て、発見!

天神祭 1921

疫病退散を祈る都市祭礼

谷 直樹(大阪くらしの今昔館館長)

天神祭は疫病退散を願う祭礼で、七月二十四日に宵宮、二十五日に本宮を迎える。本宮では、菅原道真をお祀りした御鳳簾を中心とした渡御の行列が氏地を巡り、毛馬辺りで反転して川を下り(陸渡御)、若松町で再び陸路を取って天満宮に還御する。現在のように大川を渡る船渡御は昭和二十八年(一九五三)以降の姿で、以前は堂島川を川口の御旅所まで下り、そこで神事を執り行った後、再び堂島川を遡って天満宮に還御するコースであった。

この天神祭のジオラマ展示は、大正十年(一九二二)に描かれた絵巻物「夏祭陸渡列図」と「夏祭船渡御図」(大阪天満宮蔵)をもとに、当時の陸渡御・船渡御の様子を再現したものである。当時の船渡御は堂島川を下り、川口の御旅所に向かうコースである。先頭のどんどこ船に続いて、蒸気船に曳航された催太鼓(大鼓中)、御神酒講、獅子舞講(天神講)などが続いている。周辺を並走している御迎人形船は、幕末以来途絶えているが、和装にカンカン帽、洋装にシルクハットという服装もある。

模型の背後には、堂島川右岸(北岸)の様子を立版古で表現している。そこには、氏地



の町を進む陸渡御の列がある。御鳳簾、御蓋、御菅蓋、鳳神輿、玉神輿などの渡御列である。背後には、伝統的な町家が軒を連ねる中に、大正五年竣工の大阪控訴院が姿を表している。大正十年の天神祭船渡御は、大阪が近代都市に脱皮するさなかに執行された。この模型では、伝統の中にも近代化が着実に進んでいる祭りの風俗や都市景観にご注目いただきたい。

ところで、絵巻が描かれた大正十年は、三年前から猛威を振るっていた「一九一八年パンデミック」(スペイン風邪)がようやく終息した年である。それから一〇〇年、新型コロナウイルス禍中の今年の天神祭は、大阪天満宮で神職のみによる神事が行われ、陸渡御・船渡御などの諸行事は感染拡大防止のため中止になった。疫病退散を願った先人たちの心に思いを巡らせながら、今昔館の展示をご覧ください。